

○雪害や野ソ被害が確認されております。助けられる樹は、保護資材など早めの処置を心掛けましょう。また、まもなく薬剤散布の時期になります。機械類の準備や園内道の確保は計画的に行いましょう。

（1）りんごの生態

4月5日現在で、りんごの発芽はまだ確認されておられません。弘前公園の桜の開花は4月1日現在で、平年より3日早い4月19日と発表されております。桜の開花から約2週間でふじの開花と予想されますので、開花日は5月3日頃の見込みです。

（2）薬剤散布

黒星病の飛散は、平年並みの気温で推移すると4月21日頃から降雨後に飛散する見込みです。また、第一回目の薬剤散布日は、今後平年並みの気温で経過した場合、平場で4月23日頃の見込みです。なお、気象庁は、気温は平年より高い予報ですので、早めの準備を行いましょう。

回	散布時期	対象病害虫	基準薬剤	倍数	収穫前日数	規格	1,000ℓ当たり
1	ふじの展葉 1週間後頃 300ℓ	モニリア病					
		腐らん病・黒星病	マシン油乳剤	200倍	展葉期	20ℓ	5ℓ
		リンゴハダニ	ダースバンDF	3,000倍	45日	167g	167g×2袋
		ハマキムシ類	ペフラン液剤	1,000倍	展葉期	500ml	500ml×2本
		キンモンホソガ					
		ギンモンハモグリガ					
		カイガラムシ					

○カイガラムシの発生が多い場合は、ふじの展葉1週間後頃に、アプロードFL（1,000倍）を加用しましょう。

（3）降霜対策

降霜は、前日午後7時の気温が6℃以下で晴天無風の場合に危険性が高まります。各生育時点の安全限界温度に、1時間置かれた場合に障害が発生する恐れがありますので、各種防止対策を講じましょう。

生育ステージ								
安全限界温度	-3.5	-2.2	-2.2	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7

《 対策（効果順） 》

○燃焼法 … 霜カット（おがくず2：灯油1の割合）2kgを10a当り50個程度配置する。

○防霜ファン … 始動温度を2℃に設定する。著しい低温のときは燃焼法を併用して下さい。

○散布資材（下表）

品名				
規格等	500g	1.1kg（液体）	10kg	1L
10a当たり 使用量	使用倍数 1,000倍 散布量 300L	使用倍数 333倍 散布量 300L	使用倍数 100倍 散布量 200～300L	使用倍数 1,000倍
特徴	農薬混用可	農薬混用可	※マシン油と混用不可	固着剤（※霜ガード混用）